



株式会社 仲代金属

代表取締役社長 安中 茂

受賞理由

あらゆる非鉄金属箔を極めて「薄く、長尺、かつ正確に「切る」高度な加工技術の確立に邁進。世界一の技術を実現し、思いがけない経営危機もその技術力で乗り越えたこと。

オンリーワン化した技術に時代のニーズが追いつき、経営危機から脱出。

当社は非鉄金属箔の極細スリット加工に特化した会社で、1974年に私が独立して創業しました。この仕事に携わった当初から60年間、切った非鉄金属箔とその加工のポイントを「加工ノート」に記しており、ノウハウや知見が詰まった貴重な財産となっています。金属業界はダウンサイジングが進み、軽薄極小化の時代が来ると信じて技術を磨いていました。「どんなものでも切れる」と自負していた当社に、87年に大手取引先から持ち込まれたアモルファス素材が立ちはだかりました。その素材は、刃物を溶かすほどの硬度と極度なもろさを併せ持っており、何度加工しても上手く

いきませんでした。約1年かけて、素材のしなりに逆らわずに切る方法を見出して、独自の加工ノウハウを獲得。この加工ができるのは当社だけであり、アモルファス素材の専用工場として新潟工場を構え、月間100トンの生産を受けていた時期もあります。

携帯電話が普及し始め、当社が先読みして技術開発を進めていた軽薄極小化のニーズが高まり順調に業績を上げていた2000年頃、中国進出を図りました。しかし、中国の企業文化や社員意識は日本の感覚とはかけ離れており、特に弊社が専門としている来料加工（原材料を無償支給して加工を委託する取引のこと）には合わず、苦戦の連続でありました。さらに、次期経営者として期待し、現地法人を任せていた人物の裏切りで精神的にも疲弊しました。12年には当時の



唯一無二の技術が再起の原動力。

愚直なまでに
技術を追求する「勇気」。